

北塩原村地域公共交通計画(案)に関する意見公募(パブリックコメント)の結果と村としての考え方について

No	指摘箇所	意見	村としての考え方
1	計画全体	タクシーチケット・ライドシェア・デマンドの方法に賛成です。 あとは試してみるしかないと思います。 試行してデータを取り、利用者の反応から施行する。 全員賛成とか100%はあり得ません。 道路は村の動脈です。そこを流れるシステムが無いと村民は生活できません。 人口30万人の福島市が駅からスーパーまで市民バスを運行しました。 初日の利用者は10人です。 それでも実施するのが自治体です。 社会基盤を整えるのが行政だと思います。	このたびは、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。 ご指摘のとおり、各施策による試行を重ね、データに基づいた検証・改善を行うことが重要であり、多様なご意見を踏まえながら、地域にとって最適な仕組みを構築していく必要があると認識しております。 また、公共交通は単なる移動手段の提供にとどまらず、村民の生活の利便性向上や地域の活性化に資するものであり、経済合理性のみで判断すべきものではありません。一方で、持続可能な運営を前提とした制度設計が求められるため、現実的な視点を踏まえつつ、適切な仕組みの検討を進めてまいります。 今後も、村民の皆様をはじめ、関係機関と連携しながら、地域全体の最適化を図ることを目指し、検討を継続してまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。